

よこて 社協だより

令和7年

91号

4月

- ❖ 特集:令和7年度横手市社協の取り組み …2~3
- ❖ みんなの活動ひろば …4
- ❖ 輝く地域のふくし・つどいの場へきてたんせ〜 …5
- ❖ ふくし掲示板 …6
- ❖ 善意 …7
- ❖ 本会組織体制改編のお知らせ …8
- ❖ 「横手市ふくしの窓口」からのお知らせ …8



3月16日(日)、平成高校で、食を通じた気軽な交流や地域のつながりづくりを目的とした「そば打ち体験交流会」が行われました。

打ちたてのそばと差入れの漬け物を試食しながら、地域活動や次回のそば打ちの話に花が咲きました。

令和7年度 当初予算

収入	
科目	予算額
会費収入(社協会費)	16,000
寄附金収入	1
経常経費補助金収入	10,052
受託金収入	172,012
貸付事業収入	200
事業収入	2,020
介護保険事業収入	1,505,794
老人福祉事業収入	19,946
障害福祉サービス等事業収入	9,421
受取利息配当金収入	1
その他の収入	25,026
その他の活動による収入	50,719
前期繰越金	11,126
合計	1,822,318

※共同募金配分金収入は経常経費補助金収入に含まれます。(9,195千円)

支出	
科目	予算額
人件費支出	1,241,851
事業費支出	396,156
事務費支出	83,616
貸付事業支出	200
分担金支出	119
助成金支出	10,348
支払利息支出	177
施設整備等による支出	21,603
その他の活動による支出	68,248
合計	1,822,318

詳しい事業計画並びに予算は、本会ホームページで閲覧いただけます。



令和7年度 横手市社協の取り組み

横手市と共に策定した「第4次横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画」の推進と「地域共生社会の実現」に向けた各種取り組みを展開します。

基本目標

- ① お互いさまの気持ちで思いやりのあるまちをつくる
- ② 地域の良さを活かして明るく安心して暮らせるまちをつくる
- ③ みんなが暮らしやすいやさしいまちをつくる
- ④ 信頼され安定した事業運営に向けた組織基盤をつくる

(8ページ「横手市ふくこの窓口」からのお知らせも併せてご確認ください)

基本目標 3

多様化・複雑化している地域課題に対応するため、社協部門間や関係機関等と連携した相談支援を行うと共に、生活支援・権利擁護体制の充実、強化を図ります。

- ♥ 横手市ふくこの窓口の開設
- ♥ 重層的支援体制整備や住まいの確保に向けた支援
- ♥ 資金貸付と相談による自立支援
- ♥ 権利擁護支援の充実など

基本目標 4

地域から信頼される組織づくりと地域福祉活動の財源確保をめざし、各種事業の評価及び改善を行い、地域ニーズを踏まえた地域福祉活動を推進します。

- ♥ 社協会員募集や共同募金運動の推進
- ♥ 地域福祉活動計画の推進など



そのほか、社会福祉大会や社協だより、ホームページ等での地域福祉に関する情報提供や啓発のほか、ご利用者やご家族に寄り添い信頼される介護保険サービスの提供に努めます。

基本目標 1

- ♥ 福祉教育活動の推進
- ♥ ボランティア活動の推進と支援



ボランティアによる外出支援活動



障がいのある方との交流で福祉への理解を深める

地域住民がお互いに支えあい、助けあう社会の実現をめざし、地域福祉の担い手となる人材の育成に努めます。

基本目標 2

- ♥ 福祉ネットワーク活動や福祉協力員活動の推進
- ♥ 地域の支えあいや助けあい、居場所づくりの推進
- ♥ 障がい者の社会参加や福祉団体支援
- ♥ 除雪活動や災害に備えた取り組みの推進



小ネットワーク会議で地域の支え合いを確認

住民同士の支えあい・助けあい活動や地域交流等の推進、災害時の早期復旧・復興に繋げるため、地域や行政等と連携した支援体制の充実・強化を図ります。

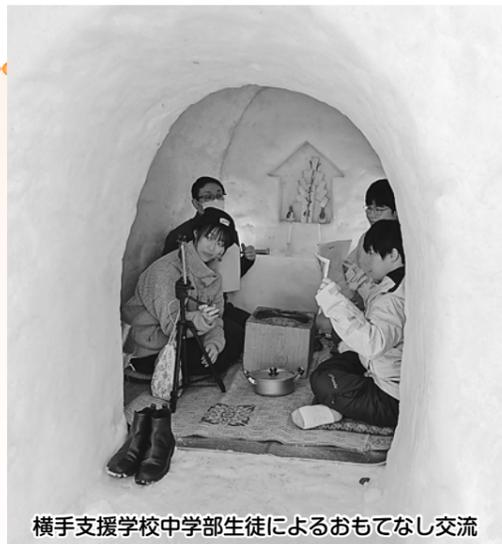
輝く地域のふくし

福祉教育活動推進校

「かまくら」体験・交流プロジェクト

病气療養などにより外出機会が少ない全国の児童などが自宅に居ながら「かまくら」を体験できるオンラインイベントが、2月15日、16日のかまくらまつりに合わせて開催されました。

プロジェクトの中心となった秋田大学の学生とともに、横手城南高校、平成高校、横手支援学校中学部の生徒がボランティアとして活動しました。タブレットでかまくら会場と児童をつなぎ、雪景色の配信やおもてなし交流、機械操作の補助など、ライブ感を感じながら活動を行い、環境や距離を超えた体験を



横手支援学校中学部生徒によるおもてなし交流

提供することができました。

県外の児童からは「現地の様子を見ることができて嬉しい」などの声があり、各校の生徒からはボランティア相互の連携から得られた学びや、地元の良さを再発見できたこと、この経験を進路や将来にも活かしていきたいという声も聞かれました。

ぜひ今後も「みんなが主役」の支え合い活動に参加していただければと思います。

つどいの場へ ぎやたんせ〜

十文字

十文字陶芸同好会



十文字陶芸同好会では、作品作りとともに“お茶っこのみ”も大切にしています。雪のことや園児たちが喜んでくれた作品のことなど、様々な話に花が咲き、毎回笑うことによって気持ちも若いままで。現在、会員を募集しており、見学も大歓迎です。マイペースに作品を作りながら、一緒に楽しい時間を過ごしませんか？

- 開催日：毎週月・木・金 9:00~16:00
- 場所：十文字西地区交流館（十文字西地区交流センター隣り）
- 費用：材料代のみ
- 内容：陶芸づくり、お茶っこ飲み、ねんりんピックへの出展

問い合わせ先 ☎090-1377-6559 (伊藤)
☎090-8928-0865 (近)

大雄

おもいやり生き生きサロン



普段は講話等を聴く機会が多い、おもいやり生き生きサロンですが、1月は「健康麻雀」と「オセロゲーム」をしました。初めて麻雀をする方も経験者にルールを教えてもらいながら、楽しみました。参加者から時折、「やったー」と喜びの声も上がり、大いに盛り上がりました。

- 開催日：月1回
- 場所：大雄地域福祉センター
- 内容：講師による講話、各種ゲーム、季節の行事など

問い合わせ先
大雄福祉センター
☎0182-52-3311

いきいきサロンの様子をご視聴いただけます



活動 ひろば みんなの

12.27 雄水苑
健康を願う鏡餅づくり



これからもみんなで元気に過ごせるようにとの願いをこめて、「円満に年を重ねる」という意味をもつ鏡餅を作りました。

「よいしょ」の掛け声と手拍子が響くなか、ご利用者は職員と一緒に餅をつき、上手な手つきで丸めていました。

12.16 横手支援学校・むつみこども園
ボランティア活動に挑戦！



横手支援学校高等部の生徒がボランティアを考え、練習を重ねた読み聞かせや紙人形劇を園児に披露しました。心を込めて作ったプレゼントも喜ばれ、「楽しんでもらえてうれしかった、また挑戦したい」と達成感を得ることが出来たようです。

1~2月 増田地域3か所
雪寄せ隊「白レンジャー」出動！



増田中学校と増田高校の生徒が、一人暮らしの高齢者宅などで除雪作業を行いました。訪問先では「室内に光が差し込み、気持ちが明るくなった」とお話しされ、生徒たちは「雪の多さに驚いた」「助け合いの気持ちが大事だと思った」と汗を流していました。

2.19 大森・下村地区
川西保育園児との合同念仏講



5年前、いきいきサロンの立ち上げをきっかけに、十数年間途絶えていた伝統行事「念仏講」を再開しました。当日は大雪の中17人が参加し、園児と一緒に石神地蔵の前などで数珠をたぐって念仏を唱え、無病息災を祈りました。

善意

承諾をいただいた方のみ掲載しており、このほかにも多くの善意をいただいております。 ※順不同

令和6年12月16日～令和7年3月15日受付分

◆◆◆ 寄付金 など ◆◆◆

- ◆ 小西 彦様 (雄物川) <20,000円>
- ◆ 鈴木 典男様 (大森) <500,000円>
- ◆ 眞坂 誠様 (十文字) <5,000円>
- ◆ 照井 博文様 (大雄) <50,000円>
- ◆ 気まぐれ弾き語りコンサート 様 <25,000円>
- ◆ (宗)親奥院 様 <200,000円>
- ◆ 横手高校 様 <51,010円>
- ◆ アンサンブル・リベラ 様 <7,793円>
- ◆ 匿名 様 <10,000円>
- ◆ 横手高校定時制課程 様
- ◆ 櫻の会 代表 眞坂 磨寿美 様

- ◆ 後藤 園子 様 (十文字) <清拭タオル>
- ◆ 菅原 衛 様 (十文字) <紙パンツ>
- ◆ 匿名 様 <おむつ、介護食品 他>
- ◆ 匿名 様 <ひな人形>
- ◆ (宗)眞如苑 親奥院 様 <お菓子>
- ◆ (公社)横手法人会 女性部会 様 <タオル>
- ◆ 雄物川理容組合 様 <BOXティッシュ>
- ◆ 沼館婦人会 様 <BOXティッシュ>
- ◆ おものがわ町きのこ生産婦人研究会、雄物川町農産物直売の会 様 <野菜、果物>
- ◆ 雄物川小学校 環境ボランティア委員会 様 <色鉛筆セット等>
- ◆ 東北聖書バプテスト十文字教会 婦人会 様 <カレンダー>

◆◆◆ 物 品 など ◆◆◆

- ◆ 柴田 ヒサ子 様 (平鹿) <卓上ゴミ入れ>
- ◆ 柿崎 弥生 様 (平鹿) <切手>
- ◆ 渡部 勝子 様 (大森) <タオル類>
- ◆ 眞坂 誠 様 (十文字) <果物>
- ◆ 黒澤 有美子 様 (十文字) <食品>
- ◆ 菊地 知子・奏 様 (十文字) <お菓子>
- ◆ 小川 孝夫 様 (十文字) <食品>
- ◆ 大石 ちさ子 様 (十文字) <衣類>

- ◆ 十文字小学校 5年生 様 <米>
- ◆ 十文字小学校 ボランティア委員会 様 <BOXティッシュ>
- ◆ 西上町いきいきサロン 様 <清拭タオル>
- ◆ 学用品おさがりの会 様 <食料品>
- ◆ 小松屋 寛 様

◆◆◆ ボランティア・協力団体 など ◆◆◆

- ◆ 花傘会 様



横手高校 様より、学校祭のフリーマーケット売上金をご寄付いただきました



(宗)親奥院 様より、ご寄付をいただきました



おものがわ町きのこ生産婦人研究会 様、雄物川町農産物直売の会 様よりきのこやりんごなどを寄贈いただきました

ありがとうございました

ふくし掲示板

大雄つどいの場「みんなのカフェ」イベント

毎月第3水曜日はイベントを開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

- ◆ 期日・内容 / 4月16日『ゲームを楽しもう!!』、5月21日『音楽に合わせて手足の運動』、6月18日『童謡を楽しみましょう』
- ◆ 時間 / 午前10時～正午 (11時からはカフェタイムで交流)
- ◆ 会場 / 大雄地域福祉センター
- ◆ 参加費 / 無料
- ※準備の都合上、参加希望の方はご連絡ください。
- ◆ 申込・問い合わせ / 大雄福祉センター ☎0182-52-3311

十文字こども食堂

こどもから高齢者まで、市内外のどなたでも参加できるこども食堂を毎月第4日曜日に開催します。お気軽にお越しください。

- ◆ 申込・問い合わせ / 十文字福祉センター ☎0182-42-5858

令和7年度ボランティア登録者・団体の募集

社会福祉協議会に登録していただけるボランティアを募集します。

- ◆ 必要書類 / 登録申込書 (団体の場合は、会員名簿や活動計画書等を添付)
- ◆ 支援内容 / 活動に関する相談対応、各種事業・研修会等の案内、ボランティア保険料の補助 (要件を満たす場合)、社協内会場の貸出など
- ◆ 申込先 / 本部または最寄りの福祉センター

本会備品の貸出をいたします

市内の町内や自治会、企業やサークルなどを対象に、行事や研修会、福祉活動などで活用できる備品をお貸しします。

- ◆ 貸出備品 / テント、プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスマイク・スピーカーセット、レクリエーション用品など
- ◆ 貸出料金 / 無料
- ◆ 申込 / 借用申請書の提出が必要



詳しくはこちら

“みんなの居場所”づくりをお手伝いします

いきいきサロンやこども食堂、子育て世代の集いなど、地域の交流や支えあいの拠点となる居場所づくりをお手伝いします。助成金の交付や運営に役立つ情報提供なども行っていますので、お気軽にご相談ください。

問合せ先がない掲示やふくし掲示板全般に関する問い合わせは本部地域福祉課まで (☎0182-36-5377)

フードドライブをはじめてみませんか？

ご家庭で眠っている食品などを回収する「フードドライブ」を、学校や職場、サークルなどの身近な方と一緒に取り組んでみませんか？

「のぼり」や回収ボックスの貸し出し、留意事項等については、本会本部や最寄りの福祉センターへお問い合わせください。

回収された食品は、本会やフードバンクあきたなどの関係機関を通じて、食品を必要としている世帯や団体などへ届けられます。

「もったいない」から「ありがとう」の活動に、ご協力ください。

「学用品おさがりの会」フェイスブックはこちらのQRコードからご覧ください



学用品おさがりの会 様より、フードドライブで回収した食品をご提供いただきました

本会組織体制改編に伴う福祉センターの統廃合 並びに事務局体制の変更について

本会では合併以降、旧市町村単位に福祉センターを設置し地域福祉の推進に努めて参りましたが、令和7年4月1日からは下記の体制にて事業を継続していくこととなりましたのでお知らせいたします。

また、福祉センターが廃止となった地域では「出張窓口・開設日」を設ける予定としておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- ◆ 南部地域は十文字福祉センターに統合(増田・平鹿福祉センターを廃止)
- ◆ 西部地域は大雄福祉センターに統合(雄物川・大森福祉センターを廃止)

事務局体制(所属長)

本 部	事務局長 日 野 勝		事務局次長・総務課長(兼務) 佐 藤 勝 人		事務局次長・地域福祉課長(兼務) 佐 藤 司	
	福 祉 セ ン タ ー			特 別 養 護 老 人 ホ ー ム		
ふくしの窓口(横手市役所1階)・ 山内福祉センター長(兼務) 佐 藤 江 里 子	十文字福祉センター長 高 橋 祐 行	大雄福祉センター長 村 田 信 幸	特養運営担当次長・ 平寿苑施設長(兼務) 佐 々 木 正 人	雄水苑施設長 加 藤 寛 規	憩寿園施設長 石 塚 純 子	

横手市役所1階に

「横手市ふくしの窓口」を開設しました

こんなことでお困りではありませんか。

認知症や障がいなどにより、判断能力に不安がある

通帳からのお金の出し入れや支払い等金銭管理が困難

働きたいけど社会に出るのが不安

生活が苦しいが、誰にも相談できなくて悩んでいる

など



横手市ふくしの窓口

ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください ☎ 0182-32-6101

総合相談(生活困窮者自立支援事業・重層的支援体制整備事業・居住支援協議会事務局事業)

生活や仕事、家計のやりくり、住まいなど、様々なお困りごとを抱えている方の相談窓口です。

専門スタッフが悩みに寄り添い、課題を整理しながら問題からの脱却を目指します。

横手市成年後見支援センター

「成年後見制度」に関する相談や制度の活用を支援します。

横手市権利擁護支援センター

福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)

ご本人と契約の上、日常生活に必要なお金の出し入れや預金通帳や印鑑、証書などの書類預かり等の支援を行います。

法人後見事業

ご本人の親族等が家庭裁判所に成年後見制度の利用申立てをし、横手市社協が選任された場合、法人として成年後見人(保佐人・補助人)を担い、財産管理や日常生活のお手伝いなどを行います。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377
(市外局番0182)
横手市ふくしの窓口 TEL.32-6101

十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009
大雄福祉センター TEL.52-3311

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

情報は各QRコードからも
確認いただけます



本会
ホームページ



YouTube:
事業や活動を
動画で紹介



X:
事業や各種情報を
随時発信